

2025年11月14日
パーソルダイバーズ株式会社

【パーソルダイバーズ】LGBTQ+に関する取り組み指標「PRIDE 指標 2025」にて 6年連続で「ゴールド」を受賞

～自社の職場風土づくりにとどまらず、転職・就職支援や企業への啓発活動も推進～

障害者雇用に関わる事業を総合的に展開するパーソルダイバーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡部 広和、以下パーソルダイバーズ）は、LGBTQ+などの性的マイノリティ（以下：LGBTQ+）に関する取り組み評価指標「PRIDE指標2025」（※1）において、6年連続となる「ゴールド」を受賞したことをお知らせいたします。



パーソル ダイバーズ

※1 PRIDE指標：任意団体 work with Prideが「企業・団体等の枠組みを超えてLGBTQ当事者が働きやすい職場づくりを日本で実現すること」を目的に策定した評価指標。

work with Pride事務局ホームページ：https://workwithpride.jp/pride-i

■パーソルダイバーズのLGBTQ+に関する取り組み：

多様な価値観を受け入れ、自信をもってはたらける職場風土づくりを推進。知見を活かし対外支援も

パーソルダイバーズはあらゆる人が制約に負けず、自信をもってはたらける新たなはたらき方の創出を目指しています。LGBTQ+においては、身体特性や性自認などを差別せず、多様な価値観を受け入れ尊重する職場環境づくりに取り組んでいるほか、LGBTQ+の当事者かつ障害のある方の就職・転職や、雇用に取り組む企業への支援も行っています。これらの取り組みが評価され、このたび、2020年より6年連続となる「ゴールド」を受賞しました。

（1）社員有志のコミュニティ「P-Rainbow」を中心に、社内外への啓蒙・理解を促進

パーソルダイバーズではLGBTQ+の当事者に寄り添い、理解を広げることを目的に、社員有志によるアライ（※2）コミュニティ「P-Rainbow」が社内外への周知や啓蒙活動を行っています。各オフィスにLGBTQ+への理解と共感を呼びかけるポスターを制作・掲示するほか、当事者社員や外部ゲストをゲストに迎えた社内勉強会を定期的に開催しています。

また、社内にとどまらず、社外に向けた啓蒙活動にも積極的に取り組んでいます。雇用に取り組む企業にむけて、LGBTQ+に関する基礎知識や、インクルーシブな職場づくりの実践方法を当事者の視点から紹介するセミナーを定期的に開催。毎回20社以上が参加し、多くの企業から高い評価をいただいています。

※2 アライ（Ally）：LGBTQ当事者への理解・支援を表明する人たちのこと

（2）dodaチャレンジ：LGBTQ+当事者かつ障害者のための転職・就職を支援。累計3,300人が登録

パーソルダイバーズが運営する障害者のための転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」では、障害に加えてジェンダー・アイデンティティやセクシュアリティに関する不安や悩みを抱える方々の転職・就職を支援しています。

専任のキャリアアドバイザーが、転職・就職における悩みや不安の解決や、LGBTQ+フレンドリー企業の紹介、キャリアプランの設計までを一貫してサポート。ジェンダー・アイデンティティやセクシュアリティを問わず、安心して相談いただけるよう守秘義務を徹底しています。

これまでに累計3,300人の当事者の方にご登録いただき、300件以上の企業様の求人を取り扱っています。サービスを利用した方からは『うつ病のほかにLGBTQ+の当事者として就職条件を

伝える際も、キャリアアドバイザーの方は丁寧に受け止めてくれ、分からないことや不安なことも遠慮することなく話すことができました。』『HIV感染発覚後、生計維持と仕事の両立に向けた的確な支援がとても心強かったです。』といったお言葉を頂戴しています。

・サービスの詳細、会員登録はこちら：

<https://doda.jp/challenge/service/support/rainbow.html>



(3)「東京レインボープライド2025」にパーソルグループの一員として参加

アジア最大級のLGBTQ+関連イベントである「東京レインボープライド2025」に、パーソルグループの一員として参加しました。「みんながCEO！自分らしい“はたらく”を自由に描こう」をコンセプトに、会場の代々木公園にブースを出展。来場者に“もし自身がCEOだったら、どんなはたらくルールを作りたいか”を、ビジョンボードに描き込んでいただきました。期間中、たくさんの「多様性の尊重×はたらく」に対するポジティブなメッセージがブースを彩りました。

<https://persol-diverse.co.jp/news/13117/>



■P-Rainbowからの、PRIDE指標2025ゴールド受賞にあたってのメッセージ



P-Rainbowメンバー：パーソルダイバース 並木 崇之

昨年に続き6年連続となるゴールドを受賞することができたことに感謝しています。今年はこれまで以上に実態を伴った対応が求められました。それでもゴールドを受賞することができたのは、会社がLGBTQ+への理解を気持ちだけでなく、制度など実際の整備をしてきたおかげです。今後もこの受賞に甘んじることなく、より良い環境作りのための活動を続けていきます。

■パーソルダイバースについて<<https://persol-diverse.co.jp/>>

パーソルグループの特例子会社として、「障害者雇用を成功させる。そして、その先へ。」をミッションに、障害者の多様なはたらき方とはたらく可能性の創出に取り組んでいます。グループ内外の企業や地域と連携した多様な業務受託サービスを展開するほか、国内最大級の求人・登録者数を持つ障害者のための転職・就職支援サービス「dodaチャレンジ」、就労移行支援事業所「ミラトレ」「Neuro Dive」の運営や、企業の雇用課題を支援する「障害者の人材紹介」「障害者雇用コンサルティング」などのサービスを提供しています。

■dodaチャレンジについて<<https://doda.jp/challenge/>>

dodaチャレンジはパーソルダイバースが運営する障害者のための転職・就職支援サービスです。サイトには掲載されていない非公開求人を含む数多くの求人から、経験豊富な障害者専任のキャリアアドバイザーが、障害の状況や配慮事項など、丁寧なヒアリングを通じて納得のいく転職をサポートしています。

■「PERSOL（パーソル）」について<<https://www.persol-group.co.jp/>>

パーソルグループは、「“はたらくWell-being”創造カンパニー」として、2030年には「人の可能性を広げる」とことで、100万人のより良い“はたらく機会”を創出することを目指しています。さまざまな事業・サービスを通

じて、はたらく人々の多様なニーズに応え、可能性を広げることで、世界中の誰もが「はたらいて、笑おう。」を実感できる社会を創造します。

【本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ】

パーソルダイバース株式会社 広報担当

MAIL : inquiry@persol.co.jp